

天之利^{スルヤ}下^ラ民^ノ其仁至^{レリ}矣。未^ダ有^ラ美^{ニシテ}於^ニ味^ニ而民^ヲ不知^ル者便^{ニシテ}於^ニ用^ニ而民^ノ不由^ル者厚^{ニシテ}於^ニ生^ニ而民^ヲ不求^メ者^②」然^シ而暑^{ニモ}雨^{ニモ}亦怨^レ之^ヲ」^(注1) 己不^{シテ}善^{ナラ}而禍^及亦怨^ミ之^ヲ己不^{シテ}儉^{ナラ}而貧^及亦怨^ム之^ヲ是^レ民^ノ事^レ天^ニ其不仁至^{レリ}矣。天尚^ホ如此^{カク}況^{シヤ}於^レ君^{ニヤ}乎。是^レ其怨^ハ讐^ハ恨^ハ讒^ハ譏^ハ誹^ハ誹^ハ倍^ニ於^ニ天^ニ矣。有^ラ帝^カ天下^ニ君^ニ一^ニ国^ニ者可^ケ不^レ慎^マ歟。故^ニ堯^{ニモ}有^リ不^レ慈^之毀^ニ舜^有不^レ孝^之謗^③殊^ニ不^レ知^ラ堯^慈被^ニ天^慈

下^ラ而不在^ニ於^ニ子^ニ舜^孝及^ニ万^ニ世^ニ乃^チ不在^ニ於^ニ父^ニ」^④ 嗚^ア呼^ア堯^ハ舜^ハ大^{ナルモ}聖^也民^且謗^レ之^ヲ後^之王^ニ天下^ニ有^ラ不^レ為^ニ堯^舜之行^者則^チ民^ハ扼^ニ其^ノ吭^ニ擗^ニ其^ノ首^辱而逐^レ之^ヲ折^レ而族^レ之^ヲ不^レ為^レ甚^{ダシト}矣^⑤

(皮日休「原謗」による)

(注)

- 1 祁寒——厳しい寒さ。
- 2 怨讐恨讒——うらみそしめること。
- 3 誹倍——数倍。
- 4 堯有不慈之毀、舜有不孝之謗——堯は帝位を舜に伝えて息子に譲らず、舜は弟を溺愛する父に憎まれた。それを取り上げて、慈愛・孝行の心に欠けるとする者があつたことを指す。
- 5 折而族之——ひどい仕打ちを加えて一族を滅ぼす。

問 1 傍線部(A)「厚_二於_一生_二・(イ)「己_レ不_レ儉」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(ア) 厚_二於_一生_一

- ① 生気に満ちあふれたもので
- ② 生命の探究に深くかわるもので
- ③ 生活をまもり豊かにするもので
- ④ 生涯にわたって利用できるもので
- ⑤ 生育を促進してくれるもので

(イ) 己_レ不_レ儉

- ① 自分の態度がへりくだっていないので
- ② 自分には財産が少なくなかったのに
- ③ 自分がつつましい生活をしないので
- ④ 自分が仕事に励まないで
- ⑤ 自分は無理なことをしないのに

問 2

傍線部 A 「民事_レ天、其不仁至矣」とあるが、筆者はどのような理由でそう言っているのか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 限らない恵みを受けながら、民は何かにつけて天を非難するから。
- ② 民が便利なものばかりを追い求め、天の意向を無視するから。
- ③ 天が与える恵みを、民が浪費するばかりで活用しようとしなから。
- ④ 天が暑さ寒さなどの試練を与えると、民はすぐそれをうらむから。
- ⑤ 天に対する民の奉仕が十分でなく、禍_{わがわが}がもたらされるから。

問 3 傍線部B「天尚如此、況於君乎」およびC「可レ不慎歟」には、どのような句形が用いられているか。最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、一つずつ選べ。

- B 天尚如此、況於君乎
① 受身 ② 疑問 ③ 反語 ④ 抑揚 ⑤ 限定

- C 可レ不慎歟
① 使役 ② 反語 ③ 限定 ④ 比較 ⑤ 禁止

問 4 傍線部D「後之王天下、有下不レ為堯・舜之行_上」この読み方として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 後に これ天下に王となり、堯・舜の行くが為にせざる者有らば、
② 後に これ天下に王となり、堯・舜にこの行ひを為さしめざる者有らば、

- ③ 後の 天下に王たりて、堯・舜の行ひの為にせざる者有らば、
④ 後の 天下に王たりて、堯・舜にこれ行くことを為さざる者有らば、
⑤ 後の 天下に王たりて、堯・舜の行ひを為さざる者有らば、

問 5 この文章を論旨の展開上、四つの段落に分けるとすれば、①～⑤のどこで切れるか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① a・b・d ② a・c・f ③ b・c・e
④ b・d・f ⑤ c・d・e

問 6 この文章の主旨として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 民は安楽な生活を求めるあまり、天や堯・舜の恩恵さえ忘れがちになる。だから、君主は慎み深い感謝の気持ちを民に教えるべきだ。
- ② 民の不平不満には限りがなく、天や堯・舜でさえその対象となる。だから、君主は自身の言行に常に心を配り、善政に努めなければならない。
- ③ 民の欲望は天や堯・舜に対しても止まるところを知らず、しばしば君主を脅かす危険な存在となる。だから、君主は慎重に厳しく取り締まらなければならない。
- ④ 民の理不尽な要求も、天や堯・舜は寛大な気持ちで受け入れてきた。だから、民から放逐されかねない終世の君主は、その寛大さを手本とすべきだ。
- ⑤ 民の中傷のもとになる欠点は、天や堯・舜のように偉大な存在にもあった。だから、民に滅ぼされる君主が多いのも、やむを得ないことと受け止めるべきだ。

第2講 解答欄

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----------|-----|-----------|
| 問 6 | 問 5 | 問 4 | 問 3 | 問 2 | 問 1 |
| | | | B | | (ア) |
| 9 | 9 | 8 | | 8 | (イ) |
| | | | C | | |
| | | | 4 × 2 = 8 | | 4 × 2 = 8 |

合格点
37点

50